

パトリステイカ

— 教父研究 —

第 13 号

2009年

目次

巻頭言	水落 健治	2
キリスト教修道制の成立—隱修制と共住制—	戸田 聡	6
修道制における隱修士の意義		
—その東方的起源と西方的展開—	桑原 直己	23
アウグステイヌスにおける「音楽」の概念		
—「魂論」としての『音楽論』—	樋笠 勝士	44
鳴り響く永遠真理—アウグステイヌスの数理思想の		
一七世紀的展開—	名須川 学	85
身体を張る (extender) アウグステイヌス		
—『告白』における distendere, continere, extendere		
をめぐって—	宮本 久雄	103
【加藤信朗著『アウグステイヌス〈告白録〉講義』		
書評会記録 (統)】		
書評会における討論		
アウグステイヌス文学のヘブライ的地平		
—『告白録』第一〜九巻における「キアスムス		
(交差対応的配列法)」構造—	宮本 久雄	142
教父研究会活動報告		
編集後記		
『パトリステイカ』既刊号目次		
表紙デザイン 小川まさえ 甲骨文字「聖」		

(1) 150 149 142

132

103

85

44

23

6

2